



# URACからの情報提供（平成29年4月）

## AMED:日本医療研究開発機構

### 4月17日掲載

大型基礎研究 AMED : 革新的先端研究開発支援事業 AMED-CREST・PRIME  
<http://www.amed.go.jp/koubo/010720170310-01.html>

産学連携 AMED : ACT-M・ACT-MS  
<http://www.amed.go.jp/koubo/020220170224.html>

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

## 1) 大型基礎研究

**AMED : 革新的先端研究開発支援事業 AMED-CREST・PRIME**  
<http://www.amed.go.jp/koubo/010720170310-01.html>

公募期間：平成29年4月12日～**5月30日正午**

公募HP：<http://www.amed.go.jp/koubo/010720170310-01.html>

公募要領：[公募要領](#)

## 【平成29年度新規研究開発領域】

### ● **全ライフコースを対象とした個体の機能低下機構の解明**

研究開発総括 西田 栄介（京都大学大学院生命科学研究科 教授）

研究開発副総括 原 英二（大阪大学微生物病研究所 教授）

AMED-CREST：3～6件程度、総額3.9億円上限（5.5年、間接含む）

PRIME：8～12件程度、総額5,200万円上限（3.5年、間接含む）

- 全ライフコースを対象として、個体の機能低下メカニズムを解明し、機能低下の評価・制御等の新たな健康・医療シーズの創出に資する革新的な基礎研究の研究開発課題を公募します。（[公募要領](#) 5 6 ページ）
- 研究開発提案例
  - ・ 栄養、衛生条件等の環境条件が個体の機能低下に影響を及ぼすメカニズムの解明
  - ・ 幹細胞の機能低下に着目した全身の機能低下メカニズムの解明
  - ・ タンパク質品質管理機構等の恒常性維持機構が個体の機能低下に及ぼす影響の解析
  - ・ 特定の臓器の機能低下が個体全体に与える影響の解析
  - ・ 概日リズムや睡眠が個体の機能低下に与える影響の解析
  - ・ ショウジョウバエや線虫、酵母など、種を超えた機能低下メカニズムの比較・解析
  - ・ システムバイオロジー的アプローチによる個体の機能低下の解析技術の創出

## 【既存研究開発領域】

### • 微生物叢と宿主の相互作用・共生の理解と、それに基づく疾患発症のメカニズム解明

研究開発総括 笹川 千尋（千葉大学真菌医学研究センター センター長）

研究開発副総括 大野 博司（理化学研究所 統合生命医科学研究センター 粘膜システム研究グループ  
グループディレクター）

AMED-CREST：2～4件程度、総額3.9億円上限（5.5年、間接含む）

PRIME：8～10件程度、総額5,200万円上限（3.5年、間接含む）

領域概要：[公募要領](#) 6 2 ページ

### • メカノバイオロジー機構の解明による革新的医療機器及び医療技術の創出

研究開発総括 曾我部 正博（名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授）

研究開発副総括 安藤 譲二（獨協医科大学医学部 特任教授）

AMED-CREST：2～4件程度、総額3.9億円上限（5.5年、間接含む）

PRIME：8～10件程度、総額5,200万円上限（3.5年、間接含む）

領域概要：[公募要領](#) 6 9 ページ

### • 画期的医薬品等の創出をめざす脂質の生理活性と機能の解明

研究開発総括 横山 信治（中部大学食環境創造研究センター長・応用生物学部 特任教授）

研究開発副総括 五十嵐 靖之（北海道大学先端生命科学研究院 招聘・客員教授）

AMED-CREST：2～4件程度、総額3.9億円上限（5.5年、間接含む）

PRIME：8～10件程度、総額5,200万円上限（3.5年、間接含む）

領域概要：[公募要領](#) 7 5 ページ

※各領域名は、AMED内のWEBに直接リンクしております。詳細は各自ご確認いただき、ご質問等はURACまでお願いします。

## 【募集説明会日程】

日時：平成29年4月28日（金）

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階 「sola city Hall【WEST】」  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 [アクセス](#)

※観覧には、事前の参加登録が必要です。[参加申し込みフォーム](#)から申込みください。

参加申し込み締め切り：4月26日（水）18時00分

時間	内容
12時30分～	受付開始
13時00分～13時40分	公募に関する全体説明
13時40分～14時10分	研究開発領域説明 「メカノバイオロジー機構の解明による革新的医療機器及び医療技術の創出」
14時10分～14時50分	研究開発領域説明 「全ライフコースを対象とした個体の機能低下機構の解明」
15時00分～15時40分	研究開発領域説明 「微生物叢と宿主の相互作用・共生の理解と、それに基づく疾患発症のメカニズム解明」
15時40分～16時10分	研究開発領域説明 「画期的医薬品等の創出をめざす脂質の生理活性と機能の解明」

## 2) 産学連携

**AMED : ACT-M ・ ACT – MS**

<http://www.amed.go.jp/koubo/020220170224.html>

## AMED 産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-M, ACT-MS)

<http://www.amed.go.jp/koubo/020220170224.html>

### 【産学連携により医療分野における技術課題を解決】

#### • ACT-M (基本スキーム)

アカデミア発の「技術シーズ※」を産業界（企業）に円滑かつ効果的に移転することで新しい医療（医薬品、医療機器など）の実現（実用化・事業化）を目指すための、産学連携による研究開発を「提案公募方式」によって支援。

#### • ACT-MS (セットアップスキーム)

ACT-Mの支援対象について、特に、大学等が有する「早期段階の挑戦的な技術シーズ」を医療への適用を目指す企業に戦略的に受け渡すことを目的とし、当該技術シーズに関する課題等を明確化してそれを解消するための研究開発を重点的に支援。

※技術シーズ：知財化あるいはその見込みが立って技術移転が可能となった研究成果

【公募期間】 平成29年4月13日～**5月31日正午**

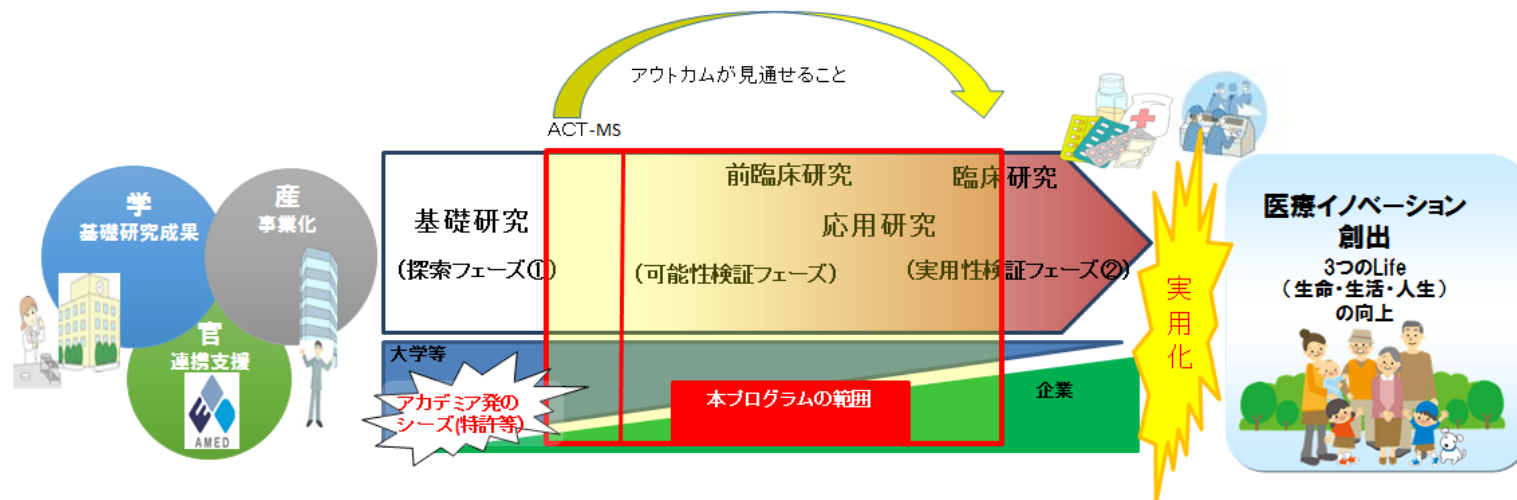
【説明会資料】 [説明会資料\(公募要領含む\)](#)

※各領域名は、AMED内のWEBに直接リンクしております。詳細は各自ご確認いただき、ご質問等はURACまでお願いします。

【制度概要】	ACT-MS	ACT-M
制度のねらい	「 <b>早期段階の挑戦的な技術シーズ</b> 」について、医療への適用のためのボトルネックを解消する。	「 <b>探索段階を終えた技術シーズ</b> 」について、実用化（事業化）のための課題を具体的に解消する。
実施内容	大学等が保有する <b>挑戦的な技術シーズ</b> について、産学が連携して医療への適用可能性を見極めるための課題を明確化し、 <b>大学等がその解決のための技術（方法）を確立するための研究（ブラッシュアップ研究）を実施</b> する。	企業が <b>実用化を目指す技術シーズ</b> について、ヒトを対象とするPOC（Proof of Concept）の確立を目標とし、 <b>産学が役割分担（連携）して研究開発を実施</b> する。（「可能性・再現性の検証」、臨床上の評価につなぐ「実用性の実証」）
提案形態	技術シーズを有する大学等と、その利用を希望する企業または起業家（以下「 <b>セットアップ企業</b> 」）による「 <b>共同提案</b> 」	技術シーズを有する大学等と、その実用化を目指す企業が、その臨床的利用と検証が可能となる研究開発体制を構築した「 <b>共同提案</b> 」
企業の役割	大学等と認識をすりあわせて <b>技術シーズ</b> についてのボトルネックを明確化し、さらにそれが解消された場合の <b>実用化・事業化計画（ビジネスモデル）を立案・実行</b> する。	大学等との役割分担を明確化した上で、 <b>自らも研究開発を実施</b> する。尚、マッチングファンドではありませんが、企業が負担する予定の研究開発費用、人員経費等「 <b>企業リソース</b> 」を明確化し、 <b>提示</b> する。
研究開発期間	原則2年（予算会計年度として） <b>（実質1年6ヶ月）</b>	原則3年（予算会計年度として） <b>（実質2年6ヶ月）</b>
研究開発体制	産学連携の研究開発チーム ※課題リーダー（代表応募者）は大学等の研究者	産学連携の研究開発チーム ※課題リーダー（代表応募者）は大学等、企業、どちらからでも構わない
研究開発費の目安	<b>上限2,000万円／年</b>	<b>上限5,000万円／年</b>
研究開発費の支援対象	<b>大学等のみ</b>	<b>大学等、企業</b>
採択課題予定数	<b>10 課題程度</b>	<b>5 課題程度</b>



産学連携により医療分野における技術課題を解決



**産学連携に「企業リソース」を効果的に活用<sup>③</sup>**

1. 探索フェーズのみ実施する研究は対象外。
2. 治験のみ実施する研究は対象外。
3. 大学等と企業の分担割合はACT-MとACT-MSで異なる

テーマ名	プログラムオフィサー(PO)	概要
①オープンイノベーションによる革新的な新薬の研究開発	谷田 清一 公益財団法人 京都高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフィノベーション創出支援センター センター長	オープンイノベーションによって、この国の薬づくりのすそ野を広げることによる革新的な新薬の創出を目的とします。たとえば、アカデミア等で顕在化した、薬の「芽」を企業等における効果的・効率的な育成を目指す研究開発や、薬づくりを支える新しい周辺技術の企業等への移転を目指した研究開発等を募集します。
②急激な少子高齢化社会を支える革新的医療技術・医療機器の研究開発	千葉 勉 京都大学 総合生存学館 特定教授 京都大学 医学研究科 名誉教授	「健康寿命」と「平均寿命」の差“ゼロ”の実現をめざして、科学的根拠に基づく近未来の環境、動向に合致した革新的な医療技術等の創出を目的とします。疾患を包括的に考え、対応すべき重要な疾患について、新たな知見に基づいたアカデミア等の「シーズ」を企業との共同研究開発することにより革新的な医療技術・医療機器の創出を行うための研究開発等を募集します。

**【募集説明会日程】**

日時：平成29年4月25日（火）／14時～15時30分（受付開始：13時）

会場：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 201会議室

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル20階 [アクセス](#)

※事前の参加登録が必要です。[参加申し込みフォーム](#)から申込みください。

参加申し込み締め切り：4月20日（木）

時間	内容
13時30分～	受付開始
14時00分～15時00分	事業及び公募内容説明
15時00分～15時30分	質疑応答

※事前に[説明会資料](#)をご用意ください。

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

ご清聴ありがとうございました

内線 7273

[urac@ml.tuat.ac.jp](mailto:urac@ml.tuat.ac.jp)